報道関係者各位
プレスリリース
(合計 3 枚)

2020 年 4 月 22 日
THINK SOUTH FOR THE NEXT 実行委員会

「我々は共に解決していけるはず」
4 月 22 日アースデイに南極大陸横断国際隊メッセージ

■4 月 20 日(月)～26 日(日)国際隊のメッセージを連日 SNS で発信

6 か国の冒険家による世界初の南極大陸犬ぞり横断 30 周年を記念して昨年よりスタートした「THINK SOUTH FOR THE NEXT」プロジェクト(主催:THINK SOUTH FOR THE NEXT 実行委員会)。「環境、平和、チャレンジスピリット」を次世代に伝える活動として 2019 年 11 月には来日し、各地で多くの反響を呼びました。

活動 2 年目となる今年、地球環境について考える日である 4 月 22 日の「アースデイ」に寄せて、6 人のレジェンドと事務局長(当時)のメッセージを 4 月 20 日(月)～4 月 26 日(日)に毎日 1 人ずつ発信しています。

新型コロナウイルスの感染が世界規模で広がる中、**“地球環境問題や平和問題も同じく、人類共通の「命」に関わる問題として、共に解決していける“**という彼らのメッセージは THE NORTH FACE 公式インスタグラム(https://www.instagram.com/thenorthfacejp/)でご覧いただけます。

メッセージ発信日とメンバー

4 月 20 日(月) 舟津圭三（日本/探検家）
4 月 21 日(火) チン・ダホ（中国/雪氷学専門家）
4 月 22 日(水) ウィル・スティーガー（アメリカ/探検家）
4 月 23 日(木) ジャン=ルイ・エチエンヌ（フランス/医師）
4 月 24 日(金) ヴィクター・ボヤルスキー（ロシア/探検家）
4 月 25 日(土) ジェフ・サマーズ（イギリス/探検家）
4 月 26 日(日) キャシー・デ・モール（アメリカ/国際隊事務局長）

◆◇◆本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先◆◇◆
ＰＲ事務局 株式会社 DAC ホールディングス内
TEL:03-6860-3952／FAX：03-6860-3925／MAIL：kawakami@po.dac-group.co.jp
[担当] 河上（MOBILE：090-9107-4794）

報道関係者各位
プレスリリース
(合計 3 枚)

2020 年 4 月 22 日
THINK SOUTH FOR THE NEXT 実行委員会

【アースデイに寄せるメッセージ(舟津圭三)】

科学技術がここまで進歩した国際社会の中で、今、ごくごく微小のウィルスが、国家や民族、人種に関係なく、世界を翻弄しています。この地球に生まれ、生かされている我々人類にとって、この新型ウィルス問題は母なる地球からの何らかのメッセージのように思えます。地球環境問題、平和問題も同じく、人類共通の「命」に関わる問題として、我々は共に解決していけるはずです。自分で何ができるかをもう一度考え、どうすれば世界の全ての人々が、平等で安全に幸せに、その一つ一つの大切な「命」をまっとうしていけるのかをこの機会に考えたいものです。
南極大陸横断国際隊 舟津圭三

■雑誌「coyote」冒険家 6 人のロングインタビューを公式サイトに掲載

3 月 15 日発売の雑誌「coyote No.70」においては「冒険のその先へ 南極大陸横断紀行 1990」と題した 80 ページの巻頭特集で本プロジェクトが紹介されました。THINK SOUTH FOR THE NEXT 公式サイトではその中から冒険家 6 人のロングインタビューをご覧いただけます。
『THINK SOUTH FOR THE NEXT』公式サイト
https://www.think-south.com

■『THINK SOUTH FOR THE NEXT』プロジェクト概要

プロジェクトタイトル： 『THINK SOUTH FOR THE NEXT』
主催：THINK SOUTH FOR THE NEXT 実行委員会
(株式会社ゴールドウイン、株式会社 DAC ホールディングス)
背景：1989 年、地球上で唯一国境をもたない大陸である南極で、環境と平和を訴えるメッセージ「THINK SOUTH」を胸に世界 6 カ国で編成された国際隊と犬ぞりによる南極横断の冒険が実施されました。
当時は多数のメディアがその偉業を取り上げ、当時注目され始めた環境問題についても報道しました。
それから 30 年後の現在では地球温暖化の影響で、彼らが犬ぞりで走ったラーセン B 棚氷も消滅するなど非常に深刻な状態となっています。本プロジェクトではこうした現状をより多くの人に発信し、環境問題とそれを守るための平和について考えるためにスタートしました。
『THINK SOUTH FOR THE NEXT』公式サイト https://www.think-south.com

◆◇◆本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先◆◇◆
ＰＲ事務局 株式会社 DAC ホールディングス内
TEL:03-6860-3952／FAX：03-6860-3925／MAIL：kawakami@po.dac-group.co.jp
[担当] 河上（MOBILE：090-9107-4794）

報道関係者各位
プレスリリース
(合計 3 枚)

2020 年 4 月 22 日
THINK SOUTH FOR THE NEXT 実行委員会

■以下英訳

We can resolve problems together

The 1990 International Trans-Antarctica Expedition team members will send messages via SNS for Earth Day from April 20th to April 26th.

The project “THINK SOUTH FOR THE NEXT” was started as part of the 30th anniversary of the first non-mechanized and longest traverse of Antarctica. This new movement began in November 2019 in Tokyo Japan, in order to talk to the next generation about “the spirit of environmental collaboration and peace.”

This year as a second stage, the movement’s organizers are dispatching messages for Earth Day from the six expedition team members and the executive director of the Trans-Antarctica Expedition each day starting from this week.

In this moment, as the coronavirus spreads in the world, the collective message from the team: “We can resolve the issue of environment and peace together. Those are common problems for humans concerned about ‘life.’” Their messages can be seen on the official THE NORTH FACE Instagram account. (https://www.instagram.com/thenorthfacejp/)

Date of the individual messages from the Trans-Antarctica members
April 20, Monday: Keizo Funatsu (Japan)
April 21, Tuesday: Qin Dahe (China)
April 22, Wednesday:　Will Steger (USA)
April 23, Thursday: Jean-Louis Etienne (France)
April 24, Friday: Victor Boyarsky (Russia/Soviet Union)
April 25, Saturday: Geoff Somers (Great Britain)
April 26, Sunday: Cathy de Moll (USA)

◆◇◆本件に関する報道関係者様からのお問い合わせ先◆◇◆
ＰＲ事務局　株式会社 DAC ホールディングス内
TEL:03-6860-3952／FAX：03-6860-3925／MAIL：kawakami@po.dac-group.co.jp
[担当] 河上（MOBILE：090-9107-4794）